



平成29年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 なとり

コード番号 2922 URL <http://www.natori.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 名取 三郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長兼経理部長 (氏名) 安宅 茂

TEL 03-5390-8111

四半期報告書提出予定日 平成29年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	33,031	4.7	2,524	△1.6	2,516	△1.2	1,710	1.9
28年3月期第3四半期	31,541	6.8	2,566	18.6	2,547	18.8	1,678	23.1

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,739百万円 (△1.0%) 28年3月期第3四半期 1,756百万円 (21.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第3四半期	135.90	—
28年3月期第3四半期	133.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	37,581	18,853	50.2
28年3月期	30,521	17,334	56.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 18,853百万円 28年3月期 17,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
29年3月期	—	9.00	—		
29年3月期 (予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年 3月期の連結業績予想（平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	43,000	4.7	1,610	△27.4	1,600	△27.4	1,070	△14.5	85.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、【添付資料】P.4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、【添付資料】P.4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	15,032,209 株	28年3月期	15,032,209 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	2,449,294 株	28年3月期	2,449,274 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	12,582,927 株	28年3月期3Q	12,582,935 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点においては、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
【四半期連結損益計算書】	7
【四半期連結包括利益計算書】	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
5. 補足情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、雇用環境の改善がみられる一方で、企業収益や個人消費は力強さを欠く状況で推移しており、英国のEU離脱や米国の大統領選挙後に為替の乱高下が生じるなど国際金融市場に混乱が広がり、先行きへの不安は広がっております。

この様な状況の中、当社グループは、春夏新製品の市場定着と秋冬新製品の導入を積極的に進めました。また、各エリアの嗜好に合った製品の重点投入や販売促進等に引続き取組み、当社最大の繁忙期である年末商戦では、全社一丸となり生産・販売活動に努めてまいりました。しかし、国産するめいかの記録的な不漁に伴い原料価格が高騰しており、大幅に利益を減少させることになりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高330億31百万円（前年同四半期比4.7%増）、営業利益25億24百万円（同1.6%減）、経常利益25億16百万円（同1.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益17億10百万円（同1.9%増）となりました。

セグメント別および製品群別の売上の状況は、下記の通りであります。

区 分		前第3四半期		当第3四半期		差引増減額・率	
		自平成27年4月1日 至平成27年12月31日		自平成28年4月1日 至平成28年12月31日		増減額	増減率
		金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
食品製造販売事業	水産加工製品	13,936	44.2	14,480	43.8	543	3.9
	畜肉加工製品	5,347	17.0	5,845	17.7	498	9.3
	酪農加工製品	5,914	18.7	6,243	18.9	329	5.6
	農産加工製品	819	2.6	888	2.7	68	8.4
	素材菓子製品	1,562	5.0	1,576	4.8	14	0.9
	チルド製品	482	1.5	412	1.2	△69	△14.4
	その他製品	3,252	10.3	3,355	10.2	102	3.2
	計	31,315	99.3	32,802	99.3	1,487	4.8
不動産賃貸事業計		226	0.7	228	0.7	2	1.1
売上高合計		31,541	100.0	33,031	100.0	1,490	4.7

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## (食品製造販売事業)

売上高を製品群別に分類しますと、水産加工製品は、巾着タイプのチーズかまぼこが好調に推移したこと、「しっとり やわらかあたりめ」などの新製品や、シャキシャキ食感の「茎わかめ」なども売上を伸ばし増収となりました。畜肉加工製品は、テレビCMを放映中の「THEおつまみBEEF 厚切ビーフジャーキー」などのジャーキー製品が引続き好調に推移したこと、「OTSUMAMI牧場 スティックカルパス」や、新製品の「チーズが入った 粗挽きソーセージ」などのドライソーセージ製品も売上に貢献したことで増収となりました。酪農加工製品は、新製品の「3つの味わい おつまみチーズアソート」などのおつまみチーズ製品や、期間限定で発売した「チーズ鱈 本格チーズフォンデュ味」などのチーズ鱈製品が奏功し、増収となりました。農産加工製品は、沖縄県産超激辛とうがらし「アカハチ」を使用した「激辛柿の種&ピーナッツ」などが売上を伸ばし、増収となりました。素材菓子製品は、酸味をマイルドにした新製品の「甘ずっぱいカリカリ梅 種ぬき」などが好調に推移し、増収となりました。チルド製品は、ほんのり甘いなめらか食感の「クリーミーくちどけチーズたら 生クリーム」などが売上を伸ばしましたが、減収となりました。その他製品は、「うずらの味付たまご 燻製風味」などのレトルト製品や、「おつまみセレクション」などのアソート製品が売上を伸ばし増収となりました。

以上の結果、食品製造販売事業の売上高は328億2百万円（同4.8%増）となりました。

利益面では、売上は増加したものの、国産するめいかを中心に原料価格が高騰したことにより、売上総利益は104億59百万円(同1.5%増)に留まりました。

販売費及び一般管理費は、業務の無駄とりなどあるべきコスト構成を追求するコストコントロールに継続的に努めたこと等により、80億79百万円(同2.6%増)に抑えることが出来ました。

この結果、営業利益は23億79百万円(同2.0%減)となりました。

(不動産賃貸事業)

売上高は2億28百万円(同1.1%増)、営業利益は1億44百万円(同5.4%増)となりました。

		前第3四半期		当第3四半期		差引増額・率	
		自平成27年4月1日 至平成27年12月31日		自平成28年4月1日 至平成28年12月31日		百万円	%
連 結	売上高	百万円 31,541	% 100.0	百万円 33,031	% 100.0	百万円 1,490	% 4.7
	売上総利益	10,437	33.1	10,603	32.1	166	1.6
	販管費	7,871	25.0	8,079	24.5	208	2.6
	営業利益	2,566	8.1	2,524	7.6	△41	△1.6
	経常利益	2,547	8.1	2,516	7.6	△30	△1.2
	親会社株主に帰属する四半期純利益	1,678	5.3	1,710	5.2	31	1.9

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は375億81百万円(前連結会計年度末比70億60百万円増)となりました。

資産の部では、現金及び預金、建物及び構築物などが減少しておりますが、受取手形及び売掛金、建設仮勘定、原材料及び貯蔵品などの増加により総資産が増加いたしました。

負債の部では、短期借入金などが減少しておりますが、長期借入金、支払手形及び買掛金などの増加により負債合計は187億27百万円(同55億40百万円増)、純資産の部では利益剰余金の増加等により純資産合計は188億53百万円(同15億19百万円増)となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末比6.6ポイント減の50.2%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、最近の業績動向を踏まえ、本日(平成29年2月3日)付で業績予想を修正しております。詳細につきましては、同日付で公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,657,954	3,229,744
受取手形及び売掛金	※2 6,796,281	※2 10,078,701
商品及び製品	1,016,175	960,368
仕掛品	665,590	598,224
原材料及び貯蔵品	2,751,936	4,152,216
その他	328,194	314,189
貸倒引当金	△1,249	△1,121
流動資産合計	15,214,884	19,332,324
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,310,333	6,077,894
土地	5,361,405	5,361,405
その他（純額）	1,882,753	5,049,745
有形固定資産合計	13,554,492	16,489,045
無形固定資産	147,066	143,828
投資その他の資産	※1 1,604,785	※1 1,616,184
固定資産合計	15,306,344	18,249,059
資産合計	30,521,229	37,581,384

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※2 3,862,208	※2 6,169,642
短期借入金	2,855,000	1,855,000
1年内返済予定の長期借入金	-	460,040
未払法人税等	433,738	448,186
賞与引当金	332,218	346,162
役員賞与引当金	36,000	27,000
その他	※2 3,017,268	※2 2,940,942
流動負債合計	10,536,433	12,246,974
固定負債		
長期借入金	-	3,686,770
役員退職慰労引当金	629,079	657,892
退職給付に係る負債	937,291	946,310
資産除去債務	4,918	4,918
その他	1,079,100	1,184,913
固定負債合計	2,650,389	6,480,803
負債合計	13,186,823	18,727,777
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,975,125	1,975,125
資本剰余金	2,290,923	2,290,923
利益剰余金	14,927,154	16,417,027
自己株式	△2,095,739	△2,095,772
株主資本合計	17,097,463	18,587,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	258,570	320,990
為替換算調整勘定	109,081	61,852
退職給付に係る調整累計額	△130,709	△116,540
その他の包括利益累計額合計	236,942	266,302
純資産合計	17,334,405	18,853,606
負債純資産合計	30,521,229	37,581,384



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 【四半期連結損益計算書】

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	31,541,082	33,031,254
売上原価	21,103,355	22,427,278
売上総利益	10,437,727	10,603,976
販売費及び一般管理費	7,871,226	8,079,411
営業利益	2,566,500	2,524,564
営業外収益		
受取配当金	21,187	22,615
受取賃貸料	19,450	20,028
その他	27,710	31,067
営業外収益合計	68,348	73,711
営業外費用		
支払利息	14,701	15,425
賃貸費用	26,295	24,474
持分法による投資損失	46,574	35,196
その他	75	6,551
営業外費用合計	87,646	81,647
経常利益	2,547,202	2,516,628
特別利益		
固定資産売却益	1,768	-
投資有価証券売却益	2,104	3,285
特別利益合計	3,873	3,285
特別損失		
固定資産除却損	267	508
特別損失合計	267	508
税金等調整前四半期純利益	2,550,807	2,519,405
法人税等	872,418	809,330
四半期純利益	1,678,388	1,710,074
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,678,388	1,710,074

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	1,678,388	1,710,074
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,269	62,420
退職給付に係る調整額	11,797	14,168
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,004	△47,228
その他の包括利益合計	78,062	29,360
四半期包括利益	1,756,450	1,739,435
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,756,450	1,739,435
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	31,315,064	226,017	31,541,082	—	31,541,082
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	31,315,064	226,017	31,541,082	—	31,541,082
セグメント利益	2,429,287	137,213	2,566,500	—	2,566,500

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	32,802,676	228,578	33,031,254	—	33,031,254
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	32,802,676	228,578	33,031,254	—	33,031,254
セグメント利益	2,379,979	144,585	2,524,564	—	2,524,564

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更等に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に變更しております。

なお、当該変更による当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

## 注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
投資その他の資産	15,799千円	15,799千円

※2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、当第3四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
受取手形	一千円	3,316千円
支払手形	一千円	31,317千円
その他(設備関係支払手形)	一千円	1,188千円

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
減価償却費	674,936千円	685,033千円